

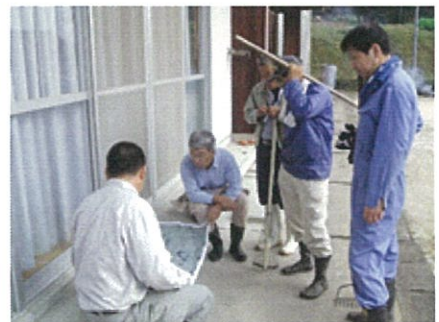
## テーマ 「 農地の利用状況調査の実施 」

邑南町農業委員会

### 活動内容

邑南町農業委員会では、毎年11月を農地パトロール月間と位置づけている。町内には200集落あり、集落内の農地や農業に精通されている方々を協力員（農林業集落推進員）として、農地の利用状況調査に協力をお願いしている。

総会で調査の実施等について、協議のうえ決定し、町内11箇所を会場に推進会議（調査の説明会）を開催し、平成22年度から農業委員21名と協力員で現地調査を実施している。



### 取り組み結果

農業委員だけでは、細部にわたる農地の状況が判らない場合も少なくないため、所有者等の状況が判っている集落からの協力員の協力は欠くことができず、調査の趣旨や実施体制等も地域に対してPRできることから、農業委員だけで実施するよりも効果的である。

### 会長コメント

農業委員だけで町内全域の農地の利用状況を現地調査するには限界があり、集落の協力員の皆さんの存在は大きい。今後も、農業委員会の活動を知っていただくため、さらに集落内の農地、特に遊休農地の状況を把握していただくためにも、農地の利用状況調査にご協力いただきたい。

## テーマ 「 地産地消大鍋 」

邑南町農業委員会

### 活動内容

農業委員会の活動の一環として、農業委員、特に女性農業委員の活動のPRや地産地消のより一層の推進のため、毎年3月末に地産地消大鍋の取り組みを実施している。

会場は、町内の道の駅みずほ前の特設テント、農業委員がそれぞれ持ち寄った材料を使い、大鍋で豚汁を作り、安価で販売している。まだまだ肌寒いこの時期は、体が温まる豚汁は大人気である。売り上げは、材料代に充てるが赤字である。



### 取り組み結果

町外者には、地元の食材を使った温かい豚汁を味わっていただくことができる。町内者には、農業委員会の活動を理解していただくとともに、女性農業委員の存在を再認識していただく良い機会となっている。

### 会長コメント

材料代で赤字とは言いながら、年1回のことでもあり、女性農業委員の発案で始まったことでもあるので、今後も継続して実施していきたいと考えている。